

県連・全国

青年部行事参加報告

神奈川県連・大和会青年部長 下田兼義

神奈川県連青年部通常総会



全青色 青年部学校

全青色通常青年部総会・学校

6月15日(金)に全青色青年部の総会がお茶の水にある中央大学駿河台記念館で開催されました。今年度は例年同時開催している青年部学校と翌日の理事会を7月に愛媛県松山で行われる「松山青色申告会青年部設立40周年記念事業」に合わせて松山で開催することが決まっております。全青色青年部総会は総会のみシンプルなものになりました。それでも青森県から沖縄県まで多くの代表者が集まり、思っていた以上に多くの出席をいただきました。遠方から参加された皆さんは7月の松山会への参加を考えると旅費の面で大分負担となってしまうところで、以前から旅費負担軽減、地方青年部の活性を狙って移動役員会の話

は出ていました。今回松山会青年部の40周年はちょうどいいタイミングでした。また、松山会はBRAの販売件数は常に全国1位であり、青年部員の加入も多く活動も活発です。全国の青年部が手本とする会で、そのようなこともあって今回は青年部学校、移動理事会を兼ねて、地方での開催をすることが出来ました。「松山青色申告会青年部設立40周年」は7月7日(土)に開催されました。直前の報告では地元松山会を除いて全国から66名の参加予定者を数えました。松山会(親会出席含む)を合わせると100名を超える規模の集会となるはずでしたが、当日は西日本集中豪雨に重なり残念ながら一部欠席された青年部もありました。私たち東京・神奈川からの飛行機も松山空港へ着陸できず、いったん羽田に引き返し、再度後発の便に乗り換えて松山入りしました。松山での2日間はそれほど天候は悪くなく無事に日程を消化できました。記念式典の後、地元選出の衆議院議員 塩崎恭久先生による記念講演が開かれ、青年部とのかかわりや税に関する諸問題について多岐にわたるご講演いただきました。(詳しくはB

LUERETURN9月号に掲載)塩崎先生は時間があれば青年部の会合にも参加され、部員さんとの見交換をされています。全青色青年部の懇親会の席にも何度かいらつしやいました。今後とも青色申告会の活動に関してお力添えをいただきたいと思います。翌日は移動理事会が開催され50名の参加者を迎えて意見交換を行いました。青年部の活性化や電子決済についてなどが議題に上がりました。地方青年部の活性化を目的に移動役員会を開催しましたが、それよりも東京・神奈川をはじめとした都市部の方が青年部活動の停滞感が強いことを感じる今回の松山行でした。



神奈川県連 青年部通常総会

6月12日(火)に横浜中華街で執り行われました。県内各会から青年部員が集まり、地元での活動状況を報告したり、他会の事業などをヒントにこれからの青年部の方向性を検討する良い機会となりました。現在県内青色申告会18会の内、青年部が活動しているのは12会となっています。休部する理由は部員数の減少であったり、予算的な都合であったり色々ありますが、青年部の存在意義は地元会に貢献していることが第一条件だと思います。部員間の懇親も大切ですが本会活動に協力する事業をしつかり行っていれば青年部の存在価値も大きくなります。将来の会運営に協力できる人材育成としても必要です。大和会青年部も頑張っています。大和会でも実働部員が少なくなり厳しいところ。お近くに青年部対象になりそうな好青年がいまいたら事務局までご連絡をお願い致します。今年度の東京地区連青年部合同合宿研修会は神奈川県が担当会になっています。もうすでに熱海伊豆多賀の会場を押えてあり、講師には熱海伊東会の富岡会長と全青色青年部小林部長にお願いしております。今から楽しみです。報告は次回のブルーウェーブにてお伝えします。

# 第5回 大和青色申告会 青年部ボウリング大会を開催

会計 吉野 晃弘



青年部員の懇親の一環として、7月19日(木) 18時より、第5回大和青色申告会青年部主催のボウリング大会を桜ヶ丘ボウルに於いて開催しました。大和会より4名、横浜中会より八木部長、川崎西会より植村部長、藪本事務局職員、みどり会より、山本部長、小林部長が参加しました。

始球式は八木部長に努めていただき、2ゲーム合計のスコアで競う大会が始まりました。三つのレーンに別れて、ストライクやスペアが出るたびに歓声が上がりが盛り上がり、日頃使っていない部分の筋肉を動かす楽しめました。

その後、大和会の陳幹事のお店『品珍酒家大和店』に車で移動し、懇親



会を行いました。その中で順位が発表され、1位が大和会の下田部長278ピン、2位が大和会の吉野会計275ピン、3位が川崎西会の藪本事務局職員264ピン、何と大和会がワンツーを競う結果でした。参加者全員に景品が配られ皆で喜びました。色々な話題で時間の経つのを忘れ夏の暑さに負けない位の熱い主張で盛り上がり、他会との交流も深まりました。ボウリング大会に際してご参加ご協力頂いた方々に感謝したいと思います。ありがとうございます。

# 東京地区連青年部

## サマーセミナー参加報告

神奈川県連・大和会青年部長 下田兼義



東京地区連青年部 サマーセミナー

東京地区連青年部サマーセミナーが8月3日(金)に開催されました。

猛暑の中、市ヶ谷にある東京青色申告会館へ行ってきました。第一部の講演会では「日本のメディアと海外のメディア」と題して上杉隆様に日本と海外の報道の仕方の違いやメディアとしての役割のあり方の違いを分かりやすく解説していただきました。海外の新聞では報道の折、情報源の提示(できない場合もあります)を行い、引用・参照元がある場合はこれも提示しています。また、間違った報道をしてしまった場合は紙面を使って訂正・謝罪もするとのこと。さらに記事内容に対して見解の相違や考え方の違いを掲載し多様な考え方があることを発信することもあるそうです。

そして記事には必ず署名をして、誰がこの記事に責任を持つのかはつきりと示しています。日本の新聞でも同じようなことを行っています。まだまだ十分ではないとお話していただきました。この他にも記者クラブ制度のことや報道の自由度ランキング(日本はかなり低いそうです)やテレビで人気の池上彰さんの話など興味深い内容でした。上杉先生は衆議院議員の公設秘書やニューヨークタイムズの記者を経験され最近では東京都知事選挙にも立候補されています。参加者一同、数多くの経験をされた方のご意見や感性に刺激を受けました。第2部では各地区の部員スカッシュン方式で研修を行いました。今回のテーマは「事業に役立つインターネットの活用法」と題して討論しました。主にホームページを活用しての集客や販路の拡大などを失敬例を交えながら話が進みました。インターネットを使っている人、それを仕事にしている人、全然わからない人、各人各様で話が進み、まったたくみ合わないところもあれば納得合意して話がまとまったり、何とも面白い討論会でした。

☆入部資格…一般社団法人大和青色申告会の正会員・準会員およびその専従者・家族従業員

☆青年部会費…無料 ※入部希望者は、事務局の渡辺までご連絡をお願いします。

新入部員  
募集中!

TEL 046-262-5111 FAX 046-262-5113

メールアドレス [yamatoao@neo.familie.ne.jp](mailto:yamatoao@neo.familie.ne.jp)